

2026
ぼらめ〜と 5月号

発行

豊橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒440-0055 豊橋市前畑町 115 総合福祉センターあいトピア内

TEL (0532) 52-1111 FAX (0532) 52-1112

MAIL info@toyohashi-shakyo.or.jp

HP https://www.toyohashi-shakyo.or.jp/

今月の目次

- ▶ つなげ手ねっと! 今月のボランティアさんは、荒川弘之さんです
- ▶ ボラセンノート アイデアを形に



つなげ手ねっと!
リレーコラム

ボランティア活動者個人個人に注目し、ボランティア活動のことはもちろん、プライベートのことも織り交ぜながら Q&A 形式でお送りするコラムです。

▶ 今月のボランティアさん 荒川 弘之さん



▶ 趣味・好きなことは何ですか?
旅行・トレーニング

▶ 豊橋のここが好き!
日本の真ん中、どこでも行ける。路面電車がカラフル。

▶ どういったボランティア活動をされていますか?
豊橋要約筆記サークル“すくり〜ん”で難聴者・中途失聴者と要約筆者が一緒になり啓蒙活動。

▶ ボランティア活動をしようと思ったきっかけは?
60歳を迎え仕事が一段落した後の社会との接点を継続していく準備がしたかった時、会社のホームページで要約筆記入門コースの募集があり参加したのが始まり。

▶ 毎月どのくらいのペースで活動していますか?
月2回の例会、不定期で福祉啓蒙のイベント参加。平日なのであまり参加出来ていないが、小中学校の福祉実践教室。

▶ ボランティア活動をしていて、印象に残ったエピソードはありますか?
夏のいきいきフェスタで手伝いに来てくれた高校生とのふれあい。(自分の高校時代そんなことは一切考えていなかった) 社会として障害者を支援していく考え方が進んできたと思う。

▶ 最後にこれから活動される方や興味のある方にメッセージをお願いします!
障害者や高齢者が外に出ていくことが重要、そのお手伝いをするにより自分自身も活動の範囲が広がられるし、いろいろな方と話しができるので楽しいです。

ボラセンノート



TITLE: アイデアを形に

私の最近の休日は、5歳になる息子と一緒に牛乳パックや段ボール、紙コップなどを使って工作をすることが多いです。息子は普段も保育園の工作の時間がお気に入りの様子で、作品を持って帰ってくるたびに、どうやって作ったとかはさみをうまく使えたなど嬉しそうに話をしてくれ、日に日に手先が器用になっていく姿に成長を感じています。

クラフト作りは、老若男女問わず幅広い場面で取り組まれており、作品作りを通して得られる効果が数多くあることでも知られています。子どもが自分で作品を作り上げると、「自分にもできる」という自信にもつながり、自己肯定感を高めることができる他、アイデアを形にしていく過程で創造性を育むことができると言われています。また、高齢者がクラフト作りを行った際は、手先の細かい動きや手順を覚える作業が、脳の運動野、感覚野、前頭前野を刺激するため、脳の活性化と認知症予防に効果があるとされており、ボランティア活動や高齢者施設で行われるレクリエーションの場面でも盛んに取り組まれています。

近年、AIが自動的に物事を考え、形にすることができるようになったおかげで、暮らしがより便利になり、問題がスピーディーに解決できる世の中が当たり前になってきていると感じます。しかしながら、AIに頼り過ぎてしまうと人間が自分で物事を考える能力が衰え、記憶力が低下するなどの悪影響が懸念されています。こうしたことから、クラフト作りなど創造性を育み、手先を使って脳を活性化させるような取り組みは、この先の未来ではより一層重要になってくるのではないのでしょうか。

・・・編集後記・・・

もう梅雨なのかと思うほど、このごろは雨降りが多く感じています。しばらく心配の続いた水不足も解消され、ひとまず安心かと思いますが、実際に水が尽きてしまったら・・・と思うと恐ろしいです。ずっと当たり前にあると思わず、日頃からなるべく無駄にしないように心がけたいですね。

ボランティアも当たり前ではなく、みなさんの思いがあつてのものですが、当たり前を願い支え合っていきましょう。

あイトピア 2階ライブラリー おすすめピックアップ



ライブラリーでは、利用者登録をすると無料で本を借りることができます。

にほんでいきる～外国からきた子どもたち
毎日新聞取材班 著（明石書店）

外国人労働者の受け入れ拡大のなか、就学状況が不明な子どもが少なくとも1万6000人いることが判明した。文部科学省による全国調査の実施など、行政を動かす原動力にもなった、毎日新聞の連載の待望の書籍化。新聞労連ジャーナリズム大賞優秀賞、新聞協会賞受賞。



豊橋市社協 ボランティアセンター
公式マスコットキャラクター

あいアラ ちゃん

ボランティアセンター / 豊橋市社会福祉協議会
公式ホームページ・SNSを随時更新中！

社協ホームページ



社協 Instagram



ボラセンLINE



ボラセンYouTube



ぼらめ〜と5月号

講座・イベント ボランティア情報

編集・発行

豊橋市社会福祉協議会
ボランティアセンター

TEL (0532) 52-1111

FAX (0532) 52-1112

〒440-0055

豊橋市前畑町 115

☆豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンター 公式LINEアカウント☆

お友だち2,300人達成!!皆様のご登録お待ちしております♪

登録方法①LINEを起動する→その他→友だち追加→ID検索

→@toyohashi-shakyo_vを入力

登録方法②LINEを起動する→その他→友だち追加→QRコード

→右のQRコードを読み取る

QRコード



視覚障害者ガイドヘルプボランティア講習会

日時 5月21日(木)、22日(金) (全2回) 10:00~15:30

場所 総合福祉センター あいトピア (前畑町115)

内容 視覚障害者の外出支援の方法などを、講義と実技を交えて学びます。

講師 山本 英毅さん(視覚障害リハビリテーションワーカー)、他

定員 20名(申込順)

受講料 500円

※資料代。その他別途昼食代と屋外実習時の市電往復運賃が必要となります。

申込み 5月11日(月)



締切間近



おもちゃ図書館 ファミリーコンサート

家族と!友達と!おひとりで!参加OK!

小さなお子様から大人までどなたでもお楽しみいただけます。

日時 6月7日(日)【開場】13時【開演】13時30分

出演 鎌田 浩史さん(ピアニスト)

場所 総合福祉センターあいトピア(前畑町115)3階多目的ホール

定員 50名(申込順)

参加料 無料

申込み 6月1日(月)



あいトピア ライブラリーのご案内

あいトピア2階のライブラリーでは、主に福祉を題材とした図書やDVD等の貸し出しを行っています。どなたでもご利用いただけますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

【貸し出しできる数量と日数】

・図書：1回につき3冊、15日間まで・ビデオ・DVD：1回につき5本、8日間まで

【貸出可能日】

火～金曜日 9:00～17:15

※月曜日は休館日のため利用不可。

なお、月曜日が祝日の場合は翌平日が休館日です。

【その他】

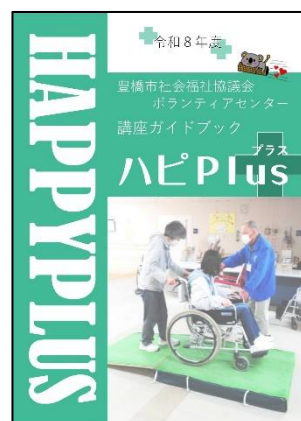
初回の利用の際は利用者登録が必要となりますので、身分証明書をお持ちください。



令和8年度版ボランティア養成講座の紹介冊子を配布中です

本会主催のボランティア養成講座の内容と年間予定がまるわりの冊子『ハピ+（プラス）』の令和8年度版を窓口で配布しています。どの講座も実際にボランティアとして活動中の方や専門の知識がある方を講師としてお招きしており、ボランティア経験がない方にも分かりやすい内容のため、活動を始めるきっかけ作りに最適です。

『何かボランティア活動を始めてみたい』、『どんな講座があるのか知りたい』という方はぜひご覧ください！



令和8年度 ボランティア活動保険受付中です

ボランティアセンターでは、令和8年度のボランティア活動保険の受付を開始しています。

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中に起きたご自身のお怪我や、ボランティア活動中、他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合などについて保障される保険です。加入手続きをした日の翌日から来年の3月31日までの適用期間となりますので、早めの手続きをおすすめしています。詳細は社会福祉協議会のホームページからパンフレットをご覧ください。



★最新情報は、随時ホームページにアップしています！

豊橋市社会福祉協議会

 検索

講座のお問合せ・お申し込みは

豊橋市社会福祉協議会へ



TEL(0532)52-1111